

平成19年6月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）



平成18年11月15日

上場会社名 株式会社 ゼロ (コード番号：9028 東証2部)
 (URL <http://www.zero-nichiriku.co.jp/>)
 代表者 代表取締役社長 岩下 世志
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 北村 竹朗 TEL：(045) 502 - 1438

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 税金費用の計算などについては、一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 事業の種類別セグメント情報において営業費用の配賦方法を変更しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年6月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年7月1日～平成18年9月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益又は 営業損失(△)		経常利益又は 経常損失(△)		四半期(当期)純利益又は 純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年6月期第1四半期	12,797	△1.5	△132	—	△106	—	△70	—
18年6月期第1四半期	12,989	—	403	—	418	—	241	—
(参考) 18年6月期	51,205	△1.3	883	△40.3	1,034	△36.0	426	△24.4

	1株当たり四半期 (当期)純利益又は 純損失(△)		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年6月期第1四半期	△4	02	—	—
18年6月期第1四半期	43	35	41	74
(参考) 18年6月期	24	76	23	97

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期に対する増減率であります。平成18年6月期第1四半期は業績開示の初年度でありますので記載しておりません。
2. 当社は平成18年5月31日を基準日として、株式1株につき3株の株式分割を行いました。
3. 平成19年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式は存在するものの当第1四半期純利益がマイナスであるため記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加を背景に個人消費・雇用環境ともに引き続き回復傾向にあるものの、物流業界においては原油価格の高騰や不安定な荷量による影響が懸念される状態です。このような環境の中で当社グループは燃費の向上や輸送効率の改善を目指す活動を継続しており、収益改善の途上です。

当第1四半期における当社グループの売上高につきましては、日産自動車の新車販売が大きく落ち込んだことが車両輸送関連事業やカーセレクション事業に影響し、127億97百万円（前年同期比98.5%）となりました。

当第1四半期における営業収益につきましては、売上減による限界利益減に加え、燃料代高騰による運行費増やシステム償却費の増等を合理化で吸収しきれずにコスト全体が膨らんだことなどにより、1億32百万円の営業損失（前年同期は4億3百万円の利益）となりました。また、それにとまって当第1四半期純損失は、70百万円（前年同期は2億41百万円の利益）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

車両輸送関連事業につきましては、中古車輸送は前年及び計画を上回って推移しましたが、日産自動車の新車販売が大きく落ち込んだことにより新車輸送及び新車整備における受託台数が減少、売上高113億52百万円、営業利益1億85百万円となりました。

カーセレクト事業につきましては、日産自動車の新車販売不振の影響により日産系販売会社での下取り車が減少、販売会社からのカーセレクト出品が落ち込んでおります。売上高は2億25百万円、営業利益は49百万円となりました。

一般貨物輸送事業につきましては、連結子会社が新しく加わったことにより売上高12億19百万円となりましたが、東京商品センターの新規開設（平成18年10月より稼働）にともなって固定費が先行して発生したことなどから、16百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年6月期第1四半期	28,639	11,063	38.5	628	72
18年6月期第1四半期	27,832	10,994	39.5	1,914	64
(参考) 18年6月期	28,807	11,212	38.8	637	56

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年6月期第1四半期	△545	△231	0	3,964
18年6月期第1四半期	△214	△135	144	4,342
(参考) 18年6月期	856	△701	39	4,741

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

① 財政状態の変動状況

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比較して1億67百万円減少し、286億39百万円となりました。

これは有形固定資産・ソフトウェア等の無形固定資産・長期貸付金・その他投資などが合計1億30百万円増加した反面、主に現金及び預金・受取手形及び売掛金などの流動資産が2億98百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して1億48百万円減少し、110億63百万円となりました。

これは配当金の支払による取崩70百万円と当第1四半期における当期純損失70百万円により、利益剰余金が1億40百万円減少したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比較して7億76百万円減少し、39億64百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

営業活動の結果減少した資金は、5億45百万円となりました。これは主に前払費用や仮払金などの、その他流動資産の支出が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、2億31百万円となりました。これは主に、有形固定資産及びシステム開発投資による無形固定資産の取得並びに貸付金の増加などによるものであります。

財務活動の結果増加した資金は、0百万円となりました。これは、借入金の返済支出と借入収入がほぼ同額であったことによるものであります。

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以上

[参考]

平成19年6月期の連結業績予想（平成18年7月1日～平成19年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	25,600	△250	△210
通期	55,600	500	220

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）12円55銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績の動向を踏まえ、平成18年8月21日付の決算発表時に公表した平成19年6月期（平成18年7月1日～平成19年6月30日）の中間期及び通期の業績予想を修正いたします。なお、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」として別途公表いたしましたので、ご参照ください。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期末)	増減		(参考) 平成18年6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	4,165	4,488			4,942
2. 受取手形及び売掛金	5,945	6,075			6,043
3. たな卸資産	153	200			160
4. 繰延税金資産	140	119			92
5. その他	1,532	1,058			996
貸倒引当金	△62	△76			△63
流動資産合計	11,873	11,866	7	0.1	12,172
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	1,078	1,152			1,080
(2) 機械装置及び運搬具	260	211			247
(3) 工具、器具及び備品	76	94			80
(4) 土地	9,164	8,390			9,164
(5) 建設仮勘定	2	—			—
有形固定資産合計	10,582	9,847	734	7.5	10,572
2. 無形固定資産					
(1) 連結調整勘定	—	47			—
(2) のれん	143	—			152
(3) その他	1,555	1,458			1,526
無形固定資産合計	1,699	1,506	193	12.8	1,678
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,524	1,668			1,538
(2) 繰延税金資産	2,490	2,630			2,484
(3) その他	485	320			377
貸倒引当金	△17	△6			△17
投資その他の資産合計	4,483	4,612	△128	△2.8	4,383
固定資産合計	16,765	15,966	799	5.0	16,634
資産合計	28,639	27,832	807	2.9	28,807

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期末)	増減		(参考) 平成18年6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	3,629	3,248			3,699
2. 短期借入金	425	325			650
3. 一年以内返済予定長期借入金	1,347	1,883			1,314
4. 未払法人税等	43	206			140
5. 未払消費税等	167	183			76
6. 賞与引当金	105	102			120
7. その他	1,617	1,383			1,393
流動負債合計	7,336	7,332	3	0.0	7,395
II 固定負債					
1. 長期借入金	3,303	2,060			3,116
2. 退職給付引当金	5,290	5,816			5,418
3. 役員退職慰労引当金	122	109			140
4. 繰延税金負債	80	—			80
5. 土地再評価に係る繰延税金負債	1,443	1,478			1,443
6. その他	0	39			0
固定負債合計	10,240	9,505	734	7.7	10,199
負債合計	17,576	16,838	738	4.4	17,595

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期末)	増減		(参考) 平成18年6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資本の部)					
Ⅰ 資本金	—	3,338			—
Ⅱ 資本剰余金	—	3,151			—
Ⅲ 利益剰余金	—	5,001			—
Ⅳ 土地再評価差額金	—	△610			—
Ⅴ その他有価証券評価差額金	—	113			—
資本合計	—	10,994	△10,994	—	—
負債及び資本合計	—	27,832	△27,832	—	—
(純資産の部)					
Ⅰ 株主資本					
1. 資本金	3,386	—			3,384
2. 資本剰余金	3,200	—			3,198
3. 利益剰余金	5,040	—			5,180
4. 自己株式	△0	—			△0
株主資本合計	11,627	—	11,627	—	11,762
Ⅱ 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	59	—			68
2. 土地再評価差額金	△662	—			△662
評価・換算差額等合計	△602	—	△602	—	△593
Ⅲ 少数株主持分	38	—	38	—	43
純資産合計	11,063	—	11,063	—	11,212
負債純資産合計	28,639	—	28,639	—	28,807

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成18年6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	12,797	12,989	△191	△1.5	51,205
II 売上原価	11,781	11,451	329	2.9	45,789
売上総利益	1,016	1,537	△521	△33.9	5,416
III 販売費及び一般管理費	1,148	1,134	14	1.3	4,533
営業利益	△132	403	△535	—	883
IV 営業外収益	51	54	△2	△4.1	252
V 営業外費用	25	39	△13	△35.0	101
経常利益	△106	418	△524	—	1,034
VI 特別利益	—	—	—	—	95
VII 特別損失	0	0	0	0.0	243
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△損失)	△106	418	△524	—	886
税金費用	△30	176	△207	—	465
少数株主損失	△5	—	△5	—	△5
四半期(当期)純利益(△損失)	△70	241	△311	—	426

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期)	(参考) 平成18年6月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益(損失)	△106	418	886
減価償却費	158	112	558
新株発行費の償却	—	1	13
連結調整勘定償却額	—	4	—
のれん償却額	8	—	17
貸倒引当金の減少額	△1	△0	△13
賞与引当金の減少額	△15	△18	△9
退職給付引当金減少額	△128	△70	△468
役員退職慰労引当金増減額	△18	2	33
受取利息及び受取配当金	△0	△1	△12
支払利息	19	18	61
投資有価証券売却益	—	—	△94
固定資産除売却損益	0	0	242
売上債権の増減額	97	117	452
たな卸資産の増減額	7	△4	34
その他流動資産増減額	△525	△458	△265
仕入債務の増減額	△69	△19	48
その他流動負債増減額	70	△98	29
未払消費税等の増減額	90	21	△94
その他	1	0	△41
小計	△411	22	1,376
利息及び配当金の受取額	0	1	12
利息の支払額	△12	△16	△60
法人税等の支払額	△122	△221	△472
営業活動によるキャッシュ・フロー	△545	△214	856

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期)	(参考) 平成18年6月期
区分	金額	金額	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入支出	△8	△9	△30
定期預金の払戻収入	9	—	—
有形固定資産の取得による支出	△62	△21	△80
有形固定資産の売却による収入	—	—	89
無形固定資産の取得による支出	△41	△100	△646
投資有価証券の取得による支出	△0	△0	△1
投資有価証券の売却による収入	—	—	152
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	—	△171
貸付による支出	△70	△0	△3
貸付金回収による収入	1	0	2
その他	△58	△4	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△135	△701
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	1,760	225	5,450
短期借入金の返済による支出	△1,985	△263	△5,400
長期借入れによる収入	470	—	1,500
長期借入金の返済による支出	△249	△458	△2,223
株式の発行による収入	5	641	721
少数株主への株式発行による収入	—	—	49
自己株式の取得による支出	—	—	△0
配当金の支払額	△0	—	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	144	39

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期)	(参考) 平成18年6月期
区分	金額	金額	金額
IV 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	△776	△204	193
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,741	4,547	4,547
VI 現金及び現金同等物の期末残高	3,964	4,342	4,741

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

(単位：百万円)

	車両輸送関連事業	カーセレクション事業	一般貨物輸送事業	計	消去又は全社	連結
売上高	11,352	225	1,219	12,797	—	12,797
営業費用	11,167	175	1,235	12,578	351	12,929
営業利益	185	49	△16	218	△351	△132

前年同四半期

(単位：百万円)

	車両輸送関連事業	カーセレクション事業	一般貨物輸送事業	計	消去又は全社	連結
売上高	12,144	291	553	12,989	—	12,989
営業費用	11,616	203	500	12,320	264	12,585
営業利益	527	87	53	668	△264	403

(営業費用の配賦方法の変更)

前連結会計年度まで営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は、当社の管理部門の人件費に係る費用のみとしておりましたが、昨年度より順次導入しております新システムの運用開始により、管理部門が負担すべき営業費用の精緻化が可能となったため、営業費用の配賦基準についての見直しを行ないました。

これにより、当連結会計年度から当社における管理部門の費用うち、各事業が負担すべき費用については各事業の営業費用とし、本社企画・事業支援及び情報システム管理に係る全ての費用を配賦不能営業費用とする方法に変更しました。

なお、従来の方法によった場合は以下の通りであります。

当四半期

(単位：百万円)

	車両輸送関連事業	カーセレクション事業	一般貨物輸送事業	計	消去又は全社	連結
売上高	11,352	225	1,219	12,797	—	12,797
営業費用	11,287	176	1,241	12,705	223	12,929
営業利益	64	48	△21	91	△223	△132